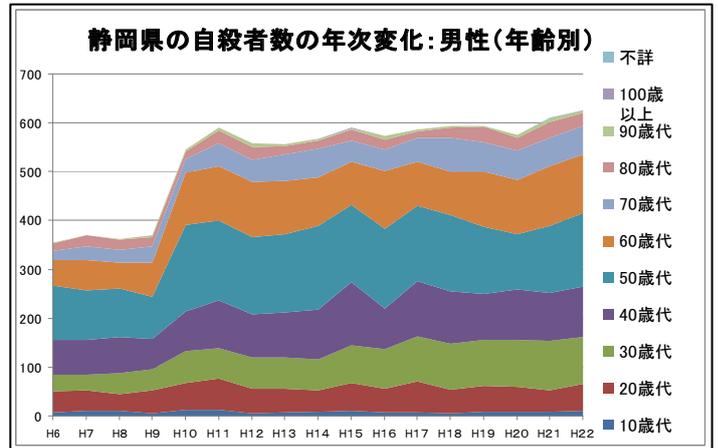
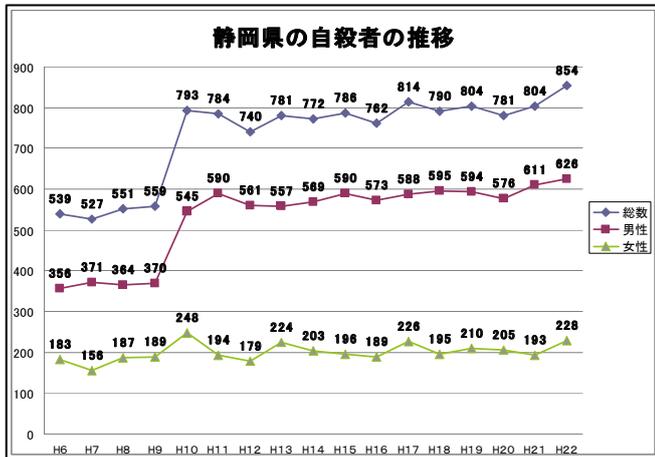


## 働き盛りのうつ自殺予防対策「富士モデル事業」【静岡県】

(実施主体) 静岡県精神保健福祉センター (基金事業メニュー) 普及啓発事業・人材養成事業  
 (実施期間) 平成 17 年度～ (実績額) 平成 23 年度 23,494 千円

### 【地域の実情・特徴】

静岡県における自殺者数は、全国と同様に平成 10 年から急増後 800 人前後で推移しており、特に 50 歳代をピークとした中高年男性の自殺者が急増していた。そこで、自殺死亡率の上昇が深刻化している働き盛り男性をターゲットとしたうつ・自殺予防対策を確立するため、製紙業が盛んで労働力人口の多い産業都市である富士市をモデル地区として、「富士モデル事業」を平成 18 年度から開始した。



### <富士市>

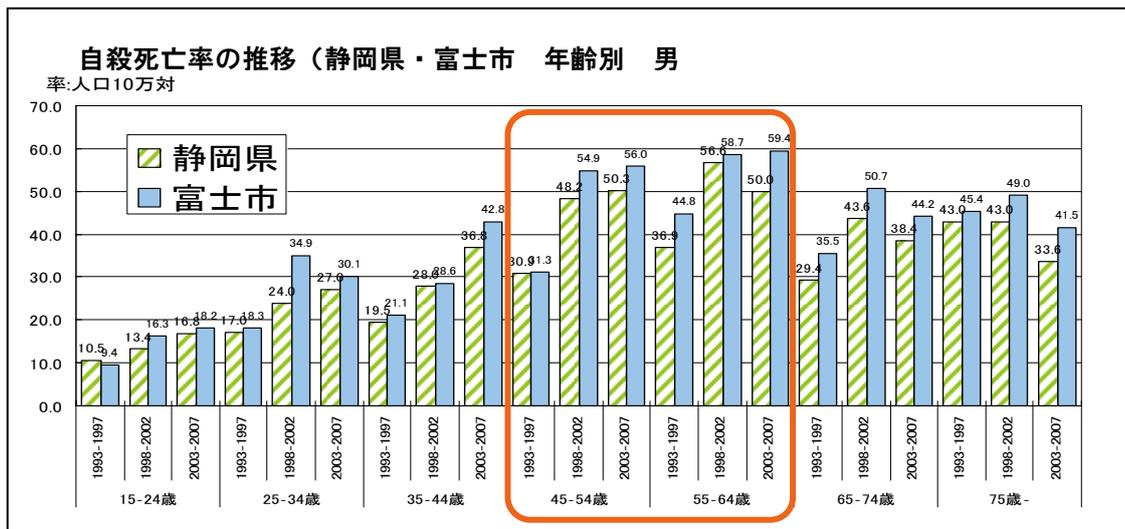
富士市は、富士山の南麓に位置し、面積は 245.02 km<sup>2</sup> (東西 23.2km 南北 27.1km)、富士山の地下水の恵みを受けた「紙のまち」として、紙、パルプ産業が発展し、輸送用機関、化学、電気機械産業なども盛んな産業都市である。

平成 20 年 11 月 1 日に旧富士川町と合併し、平成 24 年 3 月 1 日現在で、人口 260,811 人(男 129,216 人、女 131,595 人、世帯数 98,484 世帯)。平成 22 年国勢調査によれば、老年人口 21.8%に対し、生産年齢人口が 63.5%を占める、製造業を中心とした働き盛り世代が多いまちである。

医療資源は、病院 13 施設 (精神科 3 施設)、一般診療所 151 施設 (精神科 4 施設) である。

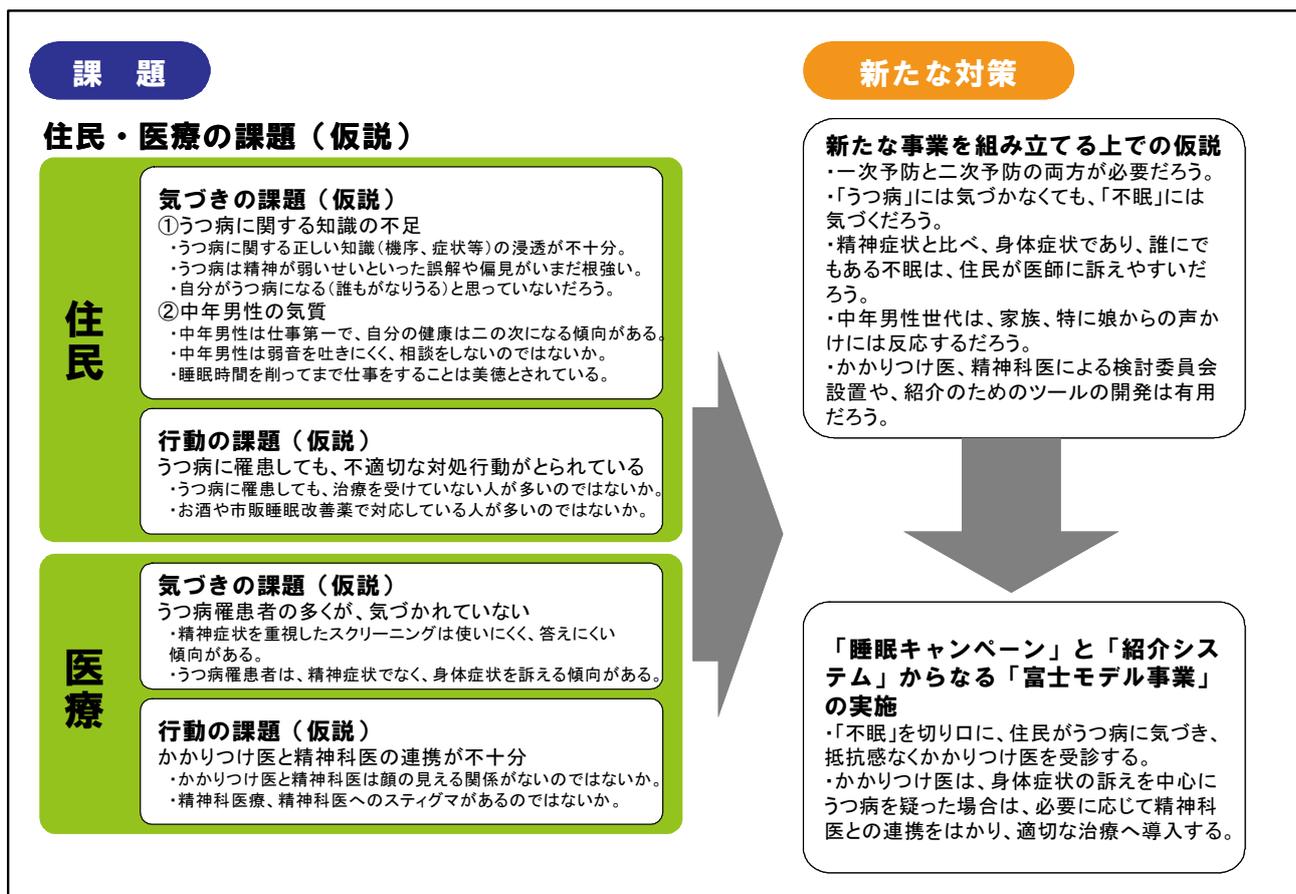
### 自殺に関するデータ

- (1) 自殺死亡率が高く、さらに圏域ごとの伸び率が最も高い
- (2) 働き盛り世代男性の自殺者が多い



## 【事業の必要性・目的】

自殺死亡率の上昇が深刻化している働き盛り男性をターゲットとしたうつ・自殺予防対策を確立するため、平成17年度から精神保健福祉センター内で検討を重ね、平成18年度から製紙業が盛んで労働力人口の多い産業都市である富士市をモデル地区として、「富士モデル事業」を開始した。



## 【事業の内容】

富士モデル事業は、自殺と関係の深いうつ病の早期発見・早期治療システムの構築にあたり、うつ病の身体症状、特に不眠症状に着目している点が大きい